

YCU 第2クォータープログラム 派遣学生報告書

氏 名	M.T	学部・学科	国際教養学部国際教養学科
学 年	2 年	派遣国	スペイン
派遣大学	サンティアゴ・デ・コンポステラ大学		
コース名	Spanish Language and Culture Course		
期 間	2025 年 8 月 4 日～2025 年 8 月 22 日		

(1) 授業や課題、演習はどのような内容であったか。(800 字程度)

(可能な限り具体的に、印象に残った授業などの説明があるとよい)

初日にレベル分けのための筆記テストと一対一のスピーキングテストがあり、スピーキングテストではどれくらいの期間スペイン語を勉強しているか、自由時間に何をするのが好きか、このコースへ留学した理由などを聞かれました。私が質問を聞き取れずにいると、先生はスピードを落として再度話してくれて、試験室内もリラックスした雰囲気だったので、あまり緊張せずに挑むことができました。

私が配置されたクラスは台湾、韓国、タイ、カナダ、ドイツ、フランス、そして日本と様々な国籍の学生がいて、2週間ごとに帰国したり新しい留学生が来たりするため人数の変動はありましたが12～17人ほどで構成されていました。8月の後半には日本からの留学生がとても多くクラスの半分以上が日本人でした。

授業の時間割は、9時15分から12時45分は文法の授業で、13時から14時は Taller と呼ばれる文化の授業・ワークショップでした。文法の授業には途中30分間の休憩があって、少し街におやつを買いに行ったり、外のベンチで友達と話したりしていました。授業は大学独自の教科書に沿って行われ、主に時制（現在進行形、線過去、現在完了）や gustar 動詞を学びました。具体的には穴埋め問題を解いたり、イラストの描写について表現したりすることで動詞の使い方や使い分けを学びました。また、文章を読み、その内容を理解して先生の質問に答える形式の場合が多かったです。文化の授業では、ペアやグループで1つのトピックについてスペイン語で話したり、長文を読んで感じたことを共有したりしました。また、2週間に1度プレゼンがあり、3～4人でグループを組み、それぞれの自国の食べ物や祭りなどの文化、スペインで最も興味のある街・好きな街について調べて紹介しました。

宿題もほぼ毎日出されましたが、教科書の練習問題を解く、提示されたテーマについて作文する、プレゼンの準備を行う、主にこの3つのパターンで量は多くないのであまり負担にはなかったです。プレゼンではパワーポイントをつくったのですが、スペイン語で相談しながらまとめていくのには時間がかかりました。

(2) 授業を受けてどのような知識等が得られたか。(500 字程度)

日本（横浜市）で学んでいたときはライティング・スピーキングが多く、リーディング・リスニングはあまり授業内で行わなかったので、特にリスニングの力・スペイン語を聞き取る力はスペインに行ったことでかなり鍛えることができたと感じています。実際、コース始めは授業中クラスの先生が何を言っているのか全然聞き取れなくて授業についていくのが大変だったけれど、2 週目あたりから段々と先生の言葉も理解できるようになってきて、分からない部分はありながらも最後は楽しんで授業を受けられるようになっていました。

また、留学に行く前までは限られた語彙の中でしか勉強をしておらず、教科書や先生との会話の中で知らない単語がたくさん出てくるため、逐一調べながら単語帳にメモすることを心掛けました。そのため、語彙の量が断然増えて、街中でよく見かける単語や日常会話でよく使用する言葉もわかるようになり、場面における使い分け方など、微妙なニュアンスの違いも少し理解できるようになりました。そして、授業ではスペイン語の文法・語彙だけではなく、文化や風習、スペイン国内の地域における違いも学ぶことができ、スペインに関する多様な知識を得ました。

(3) 授業を受ける前・受けた後でどのように（気持ちなどが）変化したか。(400 字程度)

まず私は海外に渡航すること自体が初めてだったので、多くの外国人に囲まれて過ごすことがどんな感じなのか想像がつかなくて不安で、加えて英語を流暢に話せるわけでもないので多国籍なクラスメイトと上手くコミュニケーションを取ることができるか怖かったです。でも、ネイティブの先生はとても優しく、分からないことを質問すると丁寧に答えてくれたので安心したし、クラスメイトも私が何を言いたいのかをどうにか理解しようとしてくれたので、何より大事なのはコミュニケーションを取ろうとすることなのだと感じました。その上で、自分の思っていることを上手く相手に伝えられなかったり、相手が話していることを理解できなかったりすると悔しさを感じ、もっと伝えたい、理解したいと思うことができて、この思いは留学して今までにない環境に身を置いたからこそ抱けたものだと思います。日本でスペイン語や英語を学んでいても感じなかった気持ちが芽生えたことが私にとっては重要な変化だと感じています。

(4) 今後どう生かしていくか。どのように学業を進めていくか。(300 字程度)

カリキュラム的に大学ではもうスペイン語の授業を受ける予定はないですが、スペイン語の検定 DELE の A2 取得を目標にスペイン語の学習を継続していきたいと思っています。

また、留学中に同じコースで出会った日本人学生の友人たちとオンラインでスペイン語を使って近況報告ができたらいねと話しているので、留学を機に生まれたコミュニティや経験を生かしながら、日常のなかにスペイン語を取り入れていきたいです。